

優秀発表賞の考え方と審査方法・留意点

2018年4月

日本繁殖生物学会

プログラム委員会

優秀発表賞は、繁殖生物学研究の活性化をはかるため、日本繁殖生物学会大会で優秀な研究発表（講演）を行った学生や若手研究者に授与される賞です。賞の選考に際しては、大会での講演を透明性のある評価基準とシステムによって審査します。大会長は、得られた審査結果に基づき受賞者を決定し、学会理事長の承認を得て、大会長と理事長の連名で優秀発表賞（賞状ならびに副賞）を授与します。

【優秀発表賞への3つの提言（2003年帯広大会における提言を継承）】

優秀発表賞は、完全に「開かれた選考」によって受賞者を決定しようとするものです。そのためには、選考基準は誰にでも解る明瞭なものが必要です。同時にすべての審査員は、選考理由について明確に説明できなければなりません。大会期間中に設定されている二次審査の場では、聴衆は誰もが優秀発表賞の選考に参加している実感をもてるような雰囲気が大切だと考えます。この場は、発表者、審査員、聴衆にとって真剣な舞台であり、新しい発見と学習の場であるはずです。以下に、3つのポイントとして優秀発表賞への考え方を記します。

- 1) 研究成果より研究過程を：多くの賞は成果によってのみ判断される傾向があります。本優秀発表賞では、むしろ成果に至るまでの過程（アイディア、研究の組み立て方など）を重視することで、研究の進め方に光を当てたいと思います。最近、研究の進め方を学ぶ機会は意外に限られてきています。優秀発表賞の選考過程が、様々な分野の‘探求する心’を刺激し、学ぶ場となればと期待します。
- 2) どの研究分野からも応募できる：莫大な予算が必要な基礎研究もある一方で、現場の些細な観察の集積から生まれる研究もあります。本優秀発表賞は研究分野や組織・資金にかかわらず誰もが応募できるような賞であることが重要だと考えます。
- 3) わかりやすい発表を：本学会は基礎から応用・臨床まで幅広い分野の人々で構成されています。違う分野の人が興味をなくしてしまうような発表スタイルではなく、未知の分野に興味をかきたてられるような、あるいは自分の専門分野との繋がりにはっとするような、わかりやすい発表スタイルを求めています。

【採点基準】

従来、優秀発表賞は口頭発表部門とポスター部門の2つの部門で審査されました。ポスター部門は学会発表の入門的な意味合いを考慮したものです。上田大会では試行としてポスター部門の審査を行わず、口頭部門に「カテゴリー1（学生会員）」と「カテゴリー2（若手会員）」の二つのカテゴリーを設

けることとしました。採点は技術点（経験による技術の向上が期待できるもの：方法、結果、スライド、全体のバランスなど）と思考点（アイデア、理解の深さなど：オリジナリティ、イントロ、考察、結論、発表、質疑応答）を考慮して行います。優秀発表賞口頭発表部門への応募には、いずれの категорияにも通常の2倍の字数の優秀発表賞書類選考用要旨の提出を別途に義務づけています。提出された全ての書類選考用要旨については、まず7分野に振り分け、分野毎に5～6名程度の委員が、要旨の内容だけにに基づき（発表者の氏名と所属は伏せた状態で）書面で審査し、各カテゴリーについてプログラム委員会が6題（予定）を選出します（一次審査）。これらの選出された6題の発表は、大会期間中のコンペティション（二次審査）で学会評議委員によって審査され、その評点をもって大会長が受賞者を決定します。この際、審査員はすべての発表の採点を行わなければなりません。従って、発表者はどの分野の研究者や学生にも興味を喚起し、理解できるプレゼンを求められます。受賞対象枠は、現時点では各カテゴリーでそれぞれ数題程度を想定しています。以下に、今回の評点の項目と配点を列記しますので、応募予定の方々は参考にして下さい。各項目は、それぞれ5：とても優れている、4：優れている、3：標準的である、2：やや不十分である、1：不十分である、の5段階評価に分けられます。

講演要旨（口頭発表部門一次審査）

●オリジナリティ

独創性（15points）：研究対象や仮説、得られた結果の解釈が独創的であるか？（目の付けどころと理論の組み立て）

創造性（15p）：実験手法を含め問題へのアプローチに工夫が見られるか？

●イントロダクション

問題提起（10p）：限られたスペースで適確に問題提起がされているか？

目的設定（5p）：目的は明確で的を射たものか？

●方法

実験計画（5p）：適確で無駄のない計画か？

実験手法（5p）：信頼できる実験手法か？方法を十分理解しているか？

解析方法（5p）：統計分析を含めて、結果を正しく、目的に沿って解析しているか？

●結果と考察

結果（5p）：結果が分かりやすく提示されているか？

考察（15p）：結果と整合性のある考察か？

●結論

全体構成と結論（20p）：設定された目的および得られた結果に対して整合性のある結論か？制限の字数〔全角1600字（半角3200字）〕以内で正確に発表内容が記述されているか？

口頭発表（口頭発表部門二次審査）

●発表

研究の質（20p）：質の高い内容か？

口頭発表（20p）：分かりやすい発表か？（表現力など）

スライド（10p）：分かりやすいスライドか？（見やすさなど）

バランス（10p）：各セクション（イントロ、方法など）のバランス

要旨との整合性（20p）：要旨とのコーディネーション（要旨と発表内容が補完しあっているか？）

●質疑応答

質問に対する対応（20p）：質問に適確に答えられるか？

※講演 10 分、質疑応答 5 分とします。

【応募資格】

「2018 年 4 月 1 日時点で 32 才以下の方（1985 年 4 月 2 日以降に生まれた方）」とします。「カテゴリー1（学生会員）」では応募時点で学生会員の方に限ります。「カテゴリー2（若手会員）」では有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別、学士・修士・博士の学位は問いません。また研究活動以外のものを主たる職務とする方も含めます。但し、第 109 回大会（相模原）で、口頭・ポスター発表を問わず優秀発表賞を受賞した会員は、今回はいずれのカテゴリーにも応募できません。また、発表者は繁殖生物学会の学会員（正会員、学生会員、名誉会員、シルバー会員）であることが必須条件という規定がありますので、応募の前に会員更新、あるいは入会の手続きを行って下さい。（<http://reproduction.jp/info/membership.php> をご参照下さい。）

【演題登録期間】

講演要旨オンライン登録開始： 2018 年 5 月 11 日（金）14:00

講演要旨オンライン登録締切： 2018 年 6 月 6 日（水）14:00

【演題登録様式】

優秀発表賞口頭発表部門に応募する場合には、一般発表用の講演要旨〔演題として全角 70 字（半角 140 字）以内、講演要旨本文としては全角 860 字（半角 1720 字）以内〕とは別に、全角 1600 字（半角 3200 字）以内の優秀発表賞書類選考用要旨を作成してください。図表は使用できません。

【その他】

応募資格にご注意ください。応募資格に反する事が判明した場合は、応募を受け付けない場合があります。また受賞後に判明した場合は、受賞を取り消すことがあります。

上田大会へのみなさまのご参加、若手の皆さんの優秀発表賞への応募を心からお待ちしています。